

第2回審議会の意見の反映状況

資料3

No.	発言者	質問	その後の対応
1	徳地委員	行政的な目標に関する文言などが見受けられ、この総合計画は市民向けなのか行政向けなのか	総合計画は、市民の意見を広く聞いたうえで、目指していくまちづくりの方向性や実施していく施策などを定めた計画です。 そのため、市の事業は、この計画に基づいてまちづくりを進めていくという「行政としての計画」である一方、市民にその内容を伝え、目指す姿に向かって協働でまちづくりを執り進めていけるように、市民に知ってもらふ必要がある「市民に向けた計画」でもあります。 こうした計画であることから、市民が理解しやすいような言葉づかいや表現を考慮しながら、「総合計画の見せ方」を検討していきます。
2		「目標3 いしかりの資源からモノやしごとを創り出す」について、漁業の経済状況が悪化しており、この地域資源そのものを捉え直し、新たな地域資源を作ること、既にある資源を別のアプローチから捉えることも想定した方が良いのではないかと？	・漁業の経営安定化については、基本施策7.(2)に記載しています。 ・水産物を含めた地域資源の活用については、基本施策10.(2)に記載しています。 ・戦略目標のねらい3-2にて、農林水産業を守り育てる内容を、戦略目標のねらい4-3でブランド化の内容を記載する予定です。特に4-3の中では、新規開発の観点と、既存のプロモーションの観点を両方を含めて検討します。
3		「目標6 時代にあった地域として持続する」のデジタル技術について、行政目線ではないかと思われ、観光やサービスといった地域ビジネスの一体化のみで限定されていて、中小企業などのサポートなどは想定されているのか。	・戦略目標のねらい6-3のなかで、自治体DXという行政の目線と、地域DXという事業者や市民等の目線の両方について記載を設けます。 ・なお、デジタル化は目的ではなく手段であり、特定の分野だけではなく全分野に関係することと認識しており、その他の部分についても必要に応じて記載を設けます。 ・一方で、10年後にはDXしていることが当たり前となることが予見されることから、表現等は検討したいと思います。
4		「目標6 時代にあった地域として持続する」の防災・減災について、浜益は熊と共に生活しているが、熊に関することが掲載されておらず、この部分は想定されているか。	・獣害については、基本施策11.(2)に記載しています。 ・戦略目標のねらい6-2にも記載を設ける予定です。
5		「目標6 時代にあった地域として持続する」の公共交通について、観光やサービスといった地域ビジネスと一体化を考えたものは想定しているのか。	・シン・石狩市地域公共交通計画では、地域公共交通においては「市民の生活」の確保を優先的に考えています。 ・地域公共交通については、基本施策8.(3)に記載しています。 ・戦略目標のねらい6-1にも記載を設ける予定です。
6		「目標6 時代にあった地域として持続する」の広域連携、公民連携について、行政経営の推進という行政目線の記述があるが、地域の自立的な運営については想定しているか。	・地域主体のまちづくりについては、基本施策3.(2)に記載しています。 ・戦略目標のねらい3-3にも記載を設ける予定です。
7	木村委員 (札幌市農業協同組合)	農業分野は、現在70代が主力となっており、「70代が若手」という感覚がある。また、全体としては農業人口が減っている。 現在は、農業分野においてもAIやドローン、自動トラクターなどの自動化の技術が日々発達している。	・人材確保については、基本施策6.(4)に記載しています。また、戦略目標のねらい3-2にも記載を設ける予定です。 ・スマート農業の推進については、基本施策7.(1)に記載しています。
8	小笠原委員 (北石狩農業協同組合)	農業について書いてある部分が少ないため、石狩市が農業についてどのような方針を持っているかを伺いたい。 最終的な農業のゴールは、農家の所得向上と思うことから、その視点は入れていただきたい。	・農業に関する個別具体的な方針は、農業振興計画で定めます。 ・農業経営の安定化については、基本施策7.(1)に記載しています。

第2回審議会の意見の反映状況

資料3

No.	発言者	質問	その後の対応
9	藤田委員 (石狩市森林組合)	林業分野の課題としては、若者を中心とする就労者がほとんど根付かず、後継者が育たず、現在の中心世代は50代・60代であることから、10年後の林業の維持に不安がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保については、基本施策6.(4)に記載しています。 ・戦略目標のねらい3-2にも記載を設ける予定です。
10	村本委員 (石狩湾漁業協同組合)	10年前より漁獲量が悪化しており、自然放流は行っているものの上手いかない部分もあり、漁業保険制度でなんとか生活をつないでいる人たちもいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業の経営安定化については、基本施策7.(2)に記載しています。
11		人材の観点としては、高齢化により陸地で網から魚を外す作業を担う人が大きく減っており、80代が現場を支えており、その方々が10年後に働けるとは思えない。 外国人労働者が増えているものの、彼らのための空き家リフォームや住環境整備にコストがかかり、元手がないと人を雇えないのが実情である。	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保については、基本施策6.(4)に記載しています。 ・戦略目標のねらい3-2にも記載を設ける予定です。
12		交通の部分としては、高齢化に伴って自家用車を手放すと、早朝のバスもないので、朝の出勤方法が無くなってしまふ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通については、基本施策8.(3)に記載しています。 ・戦略目標のねらい6-1にも記載を設ける予定です。
13	上田委員 (石狩市スポーツ協会)	今まで高齢者のスポーツとして、余暇時間でゲートボールをされている方が多かったが、もう競技としては市内で成り立たないような現状になっている。 また、パークゴルフも見た目上賑わっていてもプレイ人口が減っている。 これは高齢になっても仕事をしており、スポーツをする時間がないことが原因と考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの振興については、基本施策5.(2)に記載しています。 ・戦略目標のねらい5-1にも記載を設ける予定です。
14		子どものスポーツ環境については、小中学校の部活動は学校単体では成り立たず、複数校で合同、又はクラブチームと共同で行っているという状況にある。	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域展開については、基本施策2.(2)に記載しています。
15		スポーツイベントでは学校対抗戦を行っていたが、コロナ禍以降は再開できていない状態にある。 これは学校の先生の働き方改革もあり、スポーツへの協力がしたくても出来ない状態になっているのではないかと考えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革については、基本施策6.(4)に記載しています。 ・一方で、スポーツの環境については、基本施策5.(2)に記載しています。
16	清水委員 (石狩市文化協会)	芸術文化を行っている方々は、80歳を超えても元気にしている方が多く、これは自己満足だけに留まらず、市の活力にもなっていると思う。 ただ高齢化に伴い文化芸術を行う若い人の数は少なくなっており、若い人は集団的なサークルに属して活動するというより、個人の活動による芸術振興という形が増え、将来に繋げていけるか疑問を感じている。	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化の振興については、基本施策10.(1)に記載しています。 ・戦略目標のねらい5-1にも記載を設ける予定です。
17		そのなか、文化ホールの構想もあり、若い人との交流や市民の文化芸術振興に資するもので、期待したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ホールの建設に向けた検討については、基本施策10.(1)に記載しています。
18	草野委員	この10年で石狩湾新港地域のデータセンターなどの話と、過疎地域の厚田・浜益の話で、市の特徴がはっきりして、市の輪郭が見えやすくなった。 高齢化に伴い浜益では60代の方が減り、70歳の自治会長が自治会内の一番若手となっている。一方で、まちづくりの中心世代が40代にスイッチしていることもあり、今後もこういった流れは続くと思っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・新港地域の先進的な話題は「2. 石狩市について」に記載しています。 ・課題先進地については、戦略目標のねらい3-3に記載を設ける予定です。 ・自治会等の地域コミュニティについては、基本施策3.(2)に記載しています。

第2回審議会の意見の反映状況

資料3

No.	発言者	質問	その後の対応
19	(NPO法人ezorock)	この10年で市民がまちづくりに関わる機会が減って、距離感が生まれていないかという懸念がある。 行政側からの働きかけを行っても、市民はどこか他人事になっており、市も市民の反応がないことから問題ないと判断していることが多くなっており、今が市民参加の踏ん張りどころの時期に入ってきていると感覚的に感じている。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加手続きについては、基本施策3.(1)に記載しています。 ・戦略目標のねらい2-1にも記載を設ける予定です。
20	佐藤委員 (石狩市国際交流協会)	新港地域等での労働を目的とした外国人労働者が増加しており、本市における外国人の人口は1,000人を超えた。 今は外国人労働者がいなければ事業が成り立たない状況になってきているが、外国人労働者の日常生活や日本語教育をどうするかという問題があるが、国際交流協会も人手不足となっている。 本市では、まだ大きなトラブルは起きていませんが、本州の方では外国人に関する色々な問題が起きており、外国人に対しての石狩市としての考え方を検討していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人労働者の受入体制等については、基本施策6.(4)に記載しています。
21	飯塚委員 (公募)	厚田では、年齢が離れていても友人のように接してくれる方が多く、温かさを感じていたが、市街地に転居してからは、そういったかかわりが一切なくなり、「石狩ミライゆる会議」を立ち上げた。 現在は、SNSや札幌で遊ぶという人が多くなっているが、同会議を通じて友達のように接してくれる方、困ったときに助けてくれる方の温かい繋がりを作ることにより、30年先を見据えたときに大きな結果になれば良いと思っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりについては、基本施策3.(2)に記載しています。 ・戦略目標のねらい2-1にも記載を設ける予定です。
22	波多野委員 (公募)	若い世代の共働きが増えており、30代の友人も家を建てる際に石狩市に戻ってくる人も多いため、児童館等の子育て環境の拡充によって安心して共働きでき、働きたい人が働ける環境を整えることが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て環境については、基本施策1.(2)に記載しています。 ・戦略目標のねらい1-2にも記載を設ける予定です。
23		個人農家は量が作れないことから、単価が安い農産物を扱う農家は、個人ブランディングにシフトしなければならない可能性があり、個人農家として新規就農するのは難しい状況になると考えています。 その中で、地産地消はもちろん、きちんと売り先を確保することで、農家として持続することができると思っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・農水産品の販路拡大は基本施策6.(1)に記載しています。 ・地産地消については、基本施策7.(4)に記載しています。
24	八田委員 (厚田枠公募)	若者の定着という点で、私生活を大事にする若者が増えており、自然環境の中での生活や、小さいコミュニティの中で親以外にも見守ってもらえる環境が良いと思い厚田に引っ越してきた。 このような日々の暮らしをどう充実させていくか、ということが大事と思っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における子育て等の見守りについては、基本施策1.(2)に記載しています。 ・戦略目標のねらい1-2にも記載を設ける予定です。
25	徳地委員 (浜益枠公募)	漁師以外に、「浜ワーク（浜益特定地域づくり事業協同組合）」という人材派遣組織で移住支援を行っているが、10年前は勢いで移住する人が多かった一方、最近は事前情報を集める移住者が多くなっており、そうなる移住に力を入れているところに負けて、移住者を呼び込むことができないという現状に陥っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーションについては、基本施策9.(1)に記載しています。 ・移住については、基本施策9.(4)に記載しています。 ・戦略目標のねらい4-2にも記載を設ける予定です。

第2回審議会の意見の反映状況

資料3

No.	発言者	質問	その後の対応
26	渡邊委員 (浜益区地域協議会)	浜益では、商店が次々と閉まり、セイコーマートが唯一のライフラインとなっており、他はコープさっぽろの週1回の配達のみとなっている。	戦略目標のねらい3-3における課題先進地域に関する中で記載を設ける予定です。
27		農家が一番熊被害を受けている。	・農家の鳥獣被害については、基本施策7.(1)に記載しています。
28		自治会では役員の担い手がいなくなっており、コロナ禍で中止したお祭りを再開する体力も無い状態にある。	・自治会等の地域コミュニティについては、基本施策3.(2)に記載しています。 ・戦略目標のねらい2-1にも記載を設ける予定です。
29	東委員 (厚田区地域協議会)	10年ほど前は、70代の方々が農家をやっていたが、ほとんどの方が札幌の病院に入ったまま戻らない状態で、農家が半減している。 我々の親が亡くなったあとは、限界集落になるという懸念があり、若い人に住んで欲しいと思っている。 しかし、日本全体が高齢化している以上、難しいとも考えており、関係人口を増やす取組が必要と考えている。	・関係人口については、基本施策9.(4)に記載しています。 ・戦略目標のねらい3-3にも記載を設ける予定です。
30		DX化としては、本来は家にいながら手続きが出来るため、高齢者にメリットがあると思うが、実際にはなかなか進んでいかないと感じている。	・DX化に関する記載は、基本施策13.(2)に記載しています。 ・なお、現在はデジタルとアナログの過渡期にあり、デジタルによる市民サービスの向上を図るとともに、アナログによる丁寧な対面での対応が必要と認識しています。
31	桑山委員 (石狩湾新港企業団地連絡協議会)	新港地域では、これまでの物流の拠点から、エネルギーとデータセンターの拠点へと変貌している。また、商業施設や宿泊施設の立地もあり、産業拠点から多様な拠点へ大きく変化した。	・新港地域の話として、「2. 石狩市について」に記載しています。
32		札幌市から石狩市へ通勤する方は多く、新港地域の位置付けや役割を含めて、働いている人たちの観点を踏まえながら、石狩市のまちづくりを進めていくことが大事だと思う。	・新港地域に限らず、移住については、基本施策9.(4)に記載しています。 ・戦略目標のねらい4-2にも記載を設ける予定です。 ・石狩湾新港の方向性については、戦略目標のねらい3-1にも記載を設ける予定です。
33		戦略目標6にある「広域連携や公民連携」について、特に具体的に何をするか、こういった形で進めるかということを決めることが、これからの地域づくりにとって大事だと思う。	・広域連携や公民連携については、基本施策13.(5)、(6)に記載しています。 ・戦略目標のねらい6-3にも記載を設ける予定です。
34	小山委員 (石狩北商工会)	浜益に小売店がなく、セイコーマートと移動販売がなくなると、高齢者がどうやって暮らしていくのかという不安がある。	戦略目標のねらい3-3における課題先進地域に関する中で記載を設ける予定です。
35	酒井委員 (石狩商工会議所)	除雪車の運転手も高齢化で、夜中に急に集められる人がおらず、労働力不足となっている。	・人材確保については、基本施策6.(4)に記載しています。 ・戦略目標のねらい3-2にも記載を設ける予定です。
36		子どもたちが市内のイベント等を知る手段がSNSが中心となっている。	・効果的な情報発信については、基本施策9.(1)に記載しています。
37		町内会離れや空家問題について、町内会の会員が減り、空家も多くなったことで、回覧板を回すために遠くまで行く必要が出ている。SNSで回覧板を回しているところも出てきたが、SNSを行っていない人もいるので、中々難しい部分もある。	・町内会については、基本施策3.(2)に記載しています。 ・戦略目標のねらい2-1にも記載を設ける予定です。 ・空き家については、基本施策8.(4)に記載しています。 ・戦略目標のねらい4-1にも記載を設ける予定です。
38		総合計画の内容が、どの個別計画に関連するのかを明確にし、各計画につなげていくように整理する必要がある。	・素案の第2章の3「基本構想の達成に向けて」で、総合計画と個別計画や各事業の関連性を示しています。

第2回審議会の意見の反映状況

資料3

No.	発言者	質問	その後の対応
39	森会長	<p>日本全国で人口減少と高齢化が進行しており、以前のように自治体間の競争を促す施策は限界に近づいている。</p> <p>今後は、地域内外での連携がより重要になってくると考えられ、自己完結型の解決策では限界があるため、連携を強化してお互いに助け合う仕組みを考えていくべきである。</p> <p>さらに、人口減少についてですが、単に人数を増やすことは非現実的であり、減少を受け入れた上で、いかに一人一人の生活の質を向上させるかが重要である。そのため、数を増やすことよりも、現状の住民一人一人の生活の質をどう高めるかに焦点を当てていくべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口については、基本施策9.(4)に記載しています。 ・戦略目標のねらい3-3にも記載を設ける予定です。 ・広域連携については、基本施策13.(5)に記載しています。 ・戦略目標のねらい6-3にも記載を設ける予定です。
40		<p>目標6だけが「まち」が主体になっており、目標1～5と比べて「いしかり」としての主体的な表現が欠けていると感じた。</p> <p>「市民一人一人が活躍する力を発揮する」といった市民主体の意味合いをより強調する表現を採用することを検討すべき。</p>	<p>全体として、戦略目標及びねらいは、市の施策の大きな方向性を示す行政の計画でありながら、ミッションや基本構想に向かって、行政と市民が協働で進めていくことから、共に目指していく「まちのあるべき姿」という意味合いを示すため、すべて「〇〇のまち」と結ぶように修正しております。</p>